

平成24年8月30日

報道各位

全国農業協同組合連合会（JA全農）
JA全農ミートフーズ株式会社

米国向け牛肉の輸出再開について

JAグループは、平成24年8月13日付ニュースリリースにおいて米国向け牛肉輸出を平成24年8月下旬に再開することをお伝えしてきたところです。

しかしながら、その後、米国政府による放射性物質対策関連事項についての確認手続きが予定外に発生し確認手続きが終了するまで、輸出の再開が見合わされておりました。

このたび平成24年8月24日に米国側の放射性物質に係る確認手続きが終了し、輸出が可能となりましたので、延期しておりました米国向け和牛の輸出を以下のとおり再開します。

1.目的

和牛の高品質・おいしさ、安全性を米国市場においてアピールし、海外での需要を掘り起こすことで、国内生産者および系統グループ全体の士気を高め、わが国の農畜産業の発展につなげることを目指します。

2. 第1陣（平成24年9月上旬）輸出内容

（1）加工工場：米国農務省の輸出認定を受けた下記5工場より出荷

株式会社岩手畜産流通センター

株式会社群馬県食肉卸売市場

株式会社ミヤチク高崎工場

南九州畜産興業株式会社

株式会社JA食肉かごしま南薩工場

（2）商品および産地：

ア．商品：和牛（黒毛和種）3～5等級グレードのロース・ヒレ

イ．産地：岩手県、群馬県、佐賀県、熊本県、宮崎県、鹿児島県

（3）販売先：米国内大消費地圏の高級レストランなどの外食産業を中心に拡販予定。

(4) 輸出スケジュール：9月上旬出発分（9月5日～15日の便に分乗）を
第1陣として、羽田空港より空輸予定。

(5) 数量：第一陣の輸出でロース・ヒレを約2,000kg

3. 第2陣（9月下旬）以降について

(1) 産地：現地マーケット動向を見ながら、出荷制限を課せられていた4県
産（岩手、宮城、福島、栃木）を含め、産地の拡大を検討。

(2) 数量：9月月間では約4～5トンの出荷を予定。

以 上

この件に関するお問い合わせは、

J A全農 畜産総合対策部 畜産販売課

伊藤・佐藤まで TEL 03—6271—8216

J A全農ミートフーズ(株) 事業企画本部 事業企画部

倉林・森山まで TEL 03—5783—9717